

2025年3月期 決算説明資料

2024.04.01 - 2025.03.31

2025年5月9日

Securities Code 4290

 **PRESTIGE INTERNATIONAL**



4期連続売上高成長

- BPO市場の拡大を受けて期初予想を上回る売上高を達成

物価高騰や賃金上昇があるものの収益は対前期比増加

- コスト増加により収益の増加速度は弱まるも、前期まで継続したワクチン関連業務以外の既存業務は引き続き収益増加基調

成長余力の創出に向けた取り組みの継続

- 大規模BPO拠点間を繋ぐサテライトとしての設置を進め約700席分を確保

- **2025年3月期 決算サマリー**
- **2025年3月期 事業別業績サマリー**
- **2026年3月期 業績予想**
- **株主還元**
- **ESG・サステナビリティ**
- **Appendix**



■ 2025年3月期 決算サマリー

2025年3月期 連結業績サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2024.3	FY2025.3	YoY (%)	通期予想	vs.通期予想 達成率
売上高	58,738	63,719	+4,981 (+8.5%)	63,000	101.1%
営業利益	7,921	7,961	+39 (+0.5%)	8,000	99.5%
経常利益	8,458	8,416	△41 (△0.5%)	8,500	99.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,791	4,870	△921 (△15.9%)	5,300	91.9%

- 売上高

主力業務であるアシスタンスサービスの拡大による各セグメントでの増収に加え、金融保証事業も契約数の増加が増収を牽引し、ワクチン関連業務収束の影響を克服。
- 営業利益

ワクチン関連業務収束に伴う収益低下の影響や、主力のオートモーティブ事業を中心とした人件費及び協力会社への費用増加があったものの、増収となったセグメントの収益によりこれを吸収し、微増。
- 親会社株主に帰属する
当期純利益

前期に発生した株式売却による特別利益の減少や子会社清算による税効果の消失、賃上げ促進税制による減税額の減少等により、減益。

2025年3月期 連結損益計算書

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2024.3	FY2025.3	増減	YoY(%)
売上高	58,738	63,719	+4,981	+8.5%
売上原価	44,981	49,682	+4,700	+10.5%
売上総利益	13,757	14,037	+280	+2.0%
売上総利益率	23.4%	22.0%	(△1.4pt)	—
販売費及び一般管理費	5,835	6,076	+240	+4.1%
営業利益	7,921	7,961	+39	+0.5%
営業利益率	13.5%	12.5%	(△1.0pt)	—
経常利益	8,458	8,416	△41	△0.5%
経常利益率	14.4%	13.2%	(△1.2pt)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,791	4,870	△921	△15.9%

2025年3月期 連結貸借対照表

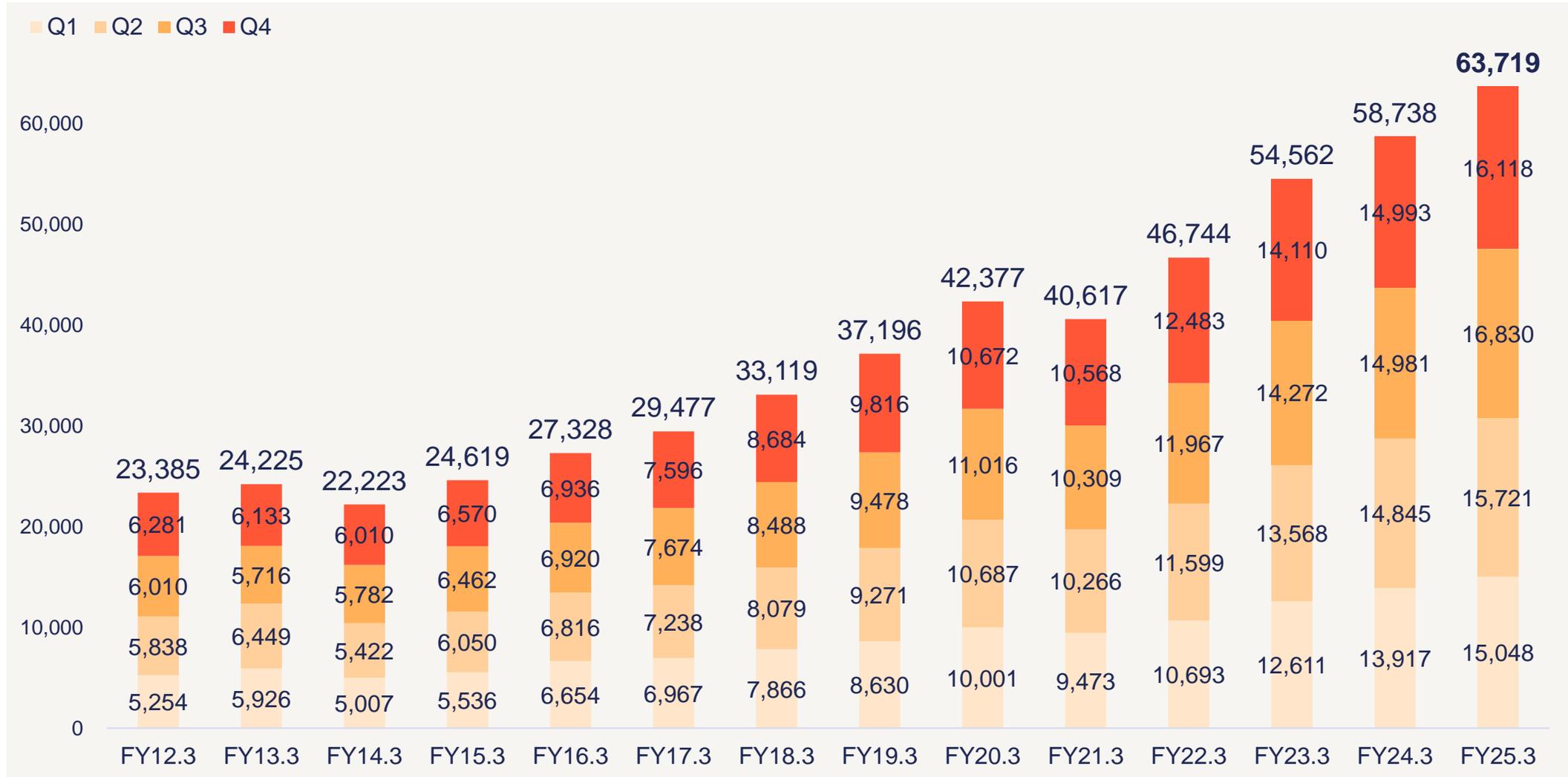
(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	2024年3月末	2025年3月末	増減	増減(%)
流動資産	40,740	42,224	+1,483	+3.6%
固定資産	27,096	29,366	+2,270	+8.4%
資産合計	67,836	71,590	+3,754	+5.5%
流動負債	17,778	19,095	+1,316	+7.4%
固定負債	2,832	2,853	+20	+0.7%
負債合計	20,611	21,948	+1,337	+6.5%
株主資本	40,603	42,763	+2,160	+5.3%
その他の包括利益累計額	3,418	3,265	△152	△4.5%
非支配株主持分等	3,203	3,612	+409	+12.8%
純資産合計	47,224	49,641	+2,417	+5.1%
負債純資産合計	67,836	71,590	+3,754	+5.5%

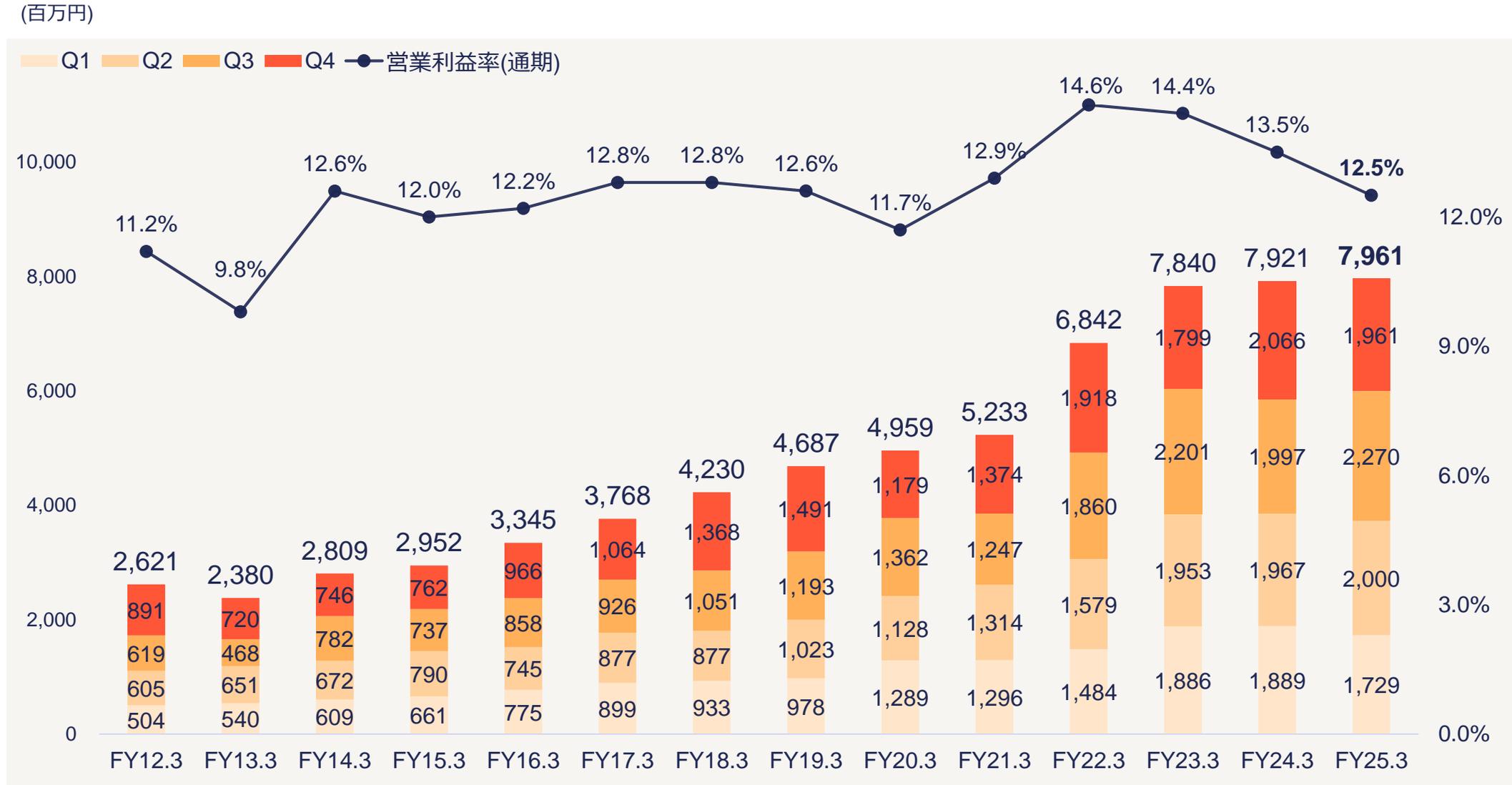
四半期売上高推移

(百万円)

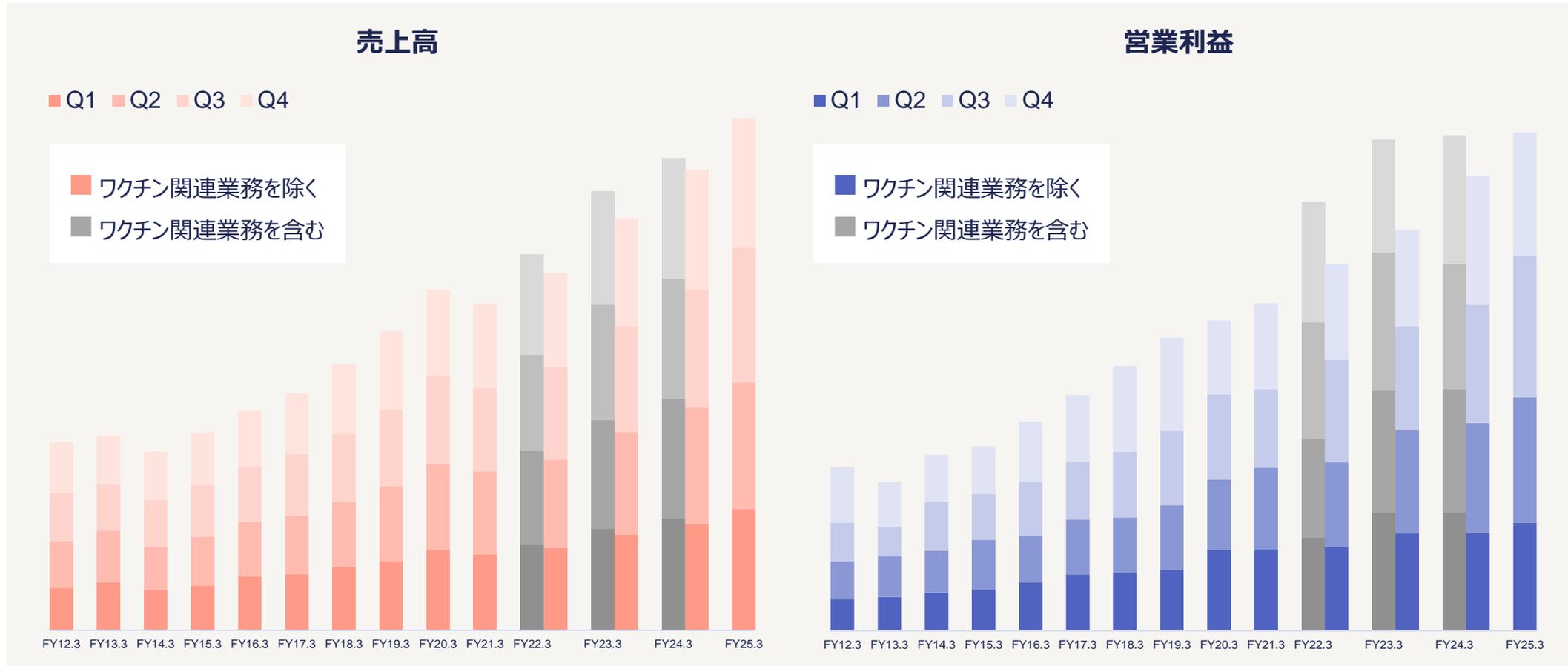


表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

四半期営業利益推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。



- 既存事業にて堅調に推移
- FY2025.3におけるワクチン関連業務を除いた前期比 ▶ 売上高 : +11.2% | 営業利益 : +9.5%

本ページの記載事項につきましては、財務経理部門及び公認会計士又は監査法人の監査の対象外であり、IR上の参考情報となります。



■ 2025年3月期 事業別業績サマリー

2025年3月期 事業別業績サマリー

(百万円)

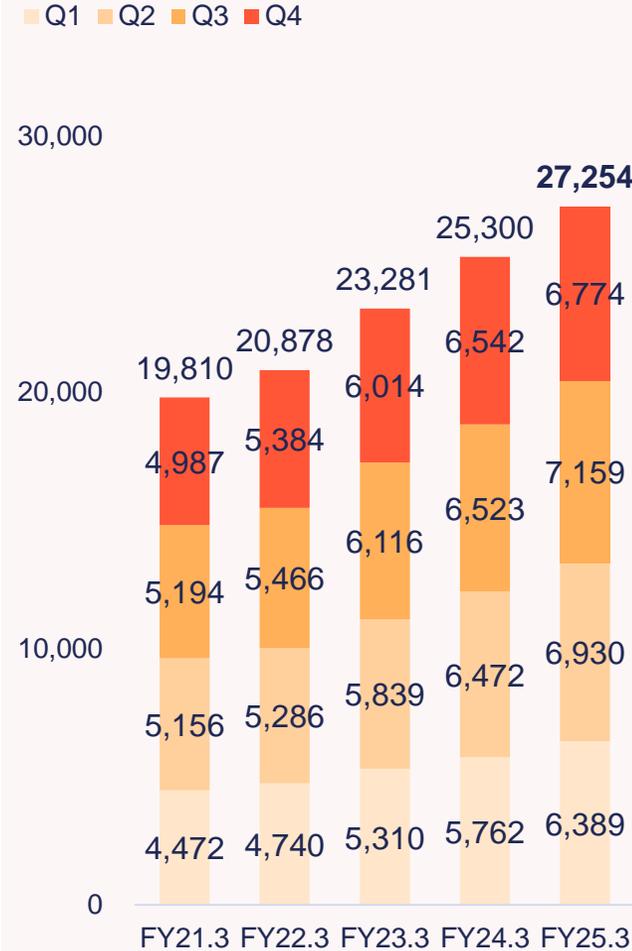
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2025.3 売上高	YoY (%)	vs.通期予想 達成率	FY2025.3 営業利益	YoY (%)	vs.通期予想 達成率
 オートモーティブ	27,254	+1,953 (+7.7%)	97.5%	3,448	△93 (△2.6%)	95.5%
 プロパティ	8,652	+1,590 (+22.5%)	111.6%	730	+228 (+45.4%)	102.9%
 グローバル	8,934	+829 (+10.2%)	103.6%	1,138	+332 (+41.3%)	118.6%
 カスタマー	6,743	△1,205 (△15.2%)	95.2%	797	△421 (△34.6%)	112.3%
 金融保証	10,572	+1,601 (+17.8%)	103.4%	2,336	+262 (+12.7%)	100.7%
 IT	865	+199 (+30.0%)	173.1%	114	△19 (△14.3%)	142.7%
 ソーシャル	697	+13 (+2.0%)	81.1%	△578	△212 (—)	—
合計	63,719	+4,981 (+8.5%)	101.1%	7,961	+39 (+0.5%)	99.5%

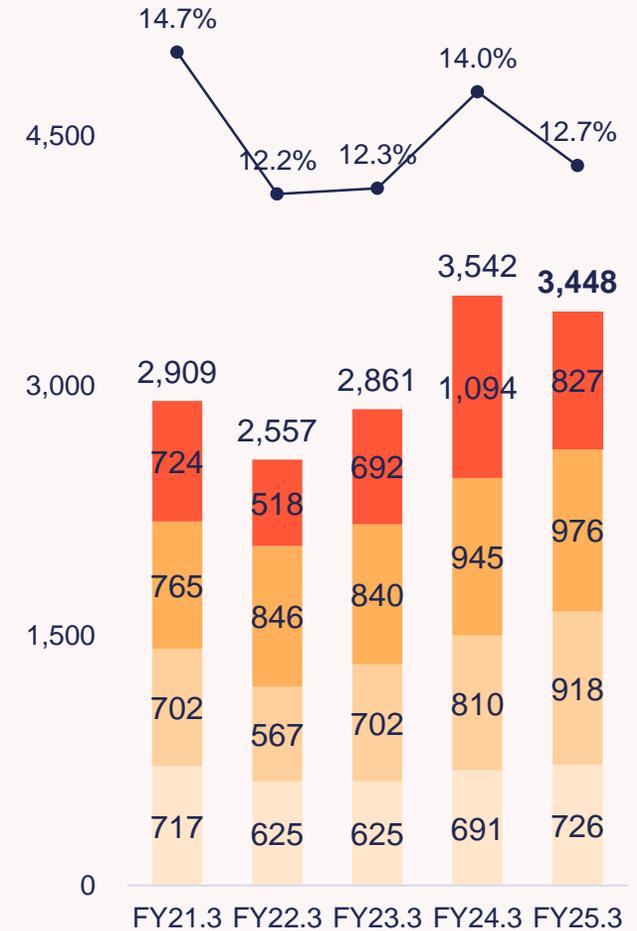
FY2025.3	
売上高	27,254 百万円
YoY(%)	(+7.7%)
営業利益	3,448 百万円
YoY(%)	(△2.6%)

- ダイレクト系自動車保険会社を中心に契約台数増加に伴い、増収。
- 大手カー用品クライアント企業の業務拡大及び新規の大手中古車販売企業向けのアシスタンス業務の開始により、増収。
- 協力会社への単価や費用の上昇に加え、一部のクライアント企業に対する委託料改定が進まず、営業利益は微減。
- グループ会社である株式会社プレミアアシストの現場対応の体制強化が寄与し、外注費抑制に貢献。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3

売上高 **8,652** 百万円

YoY(%) (+22.5%)

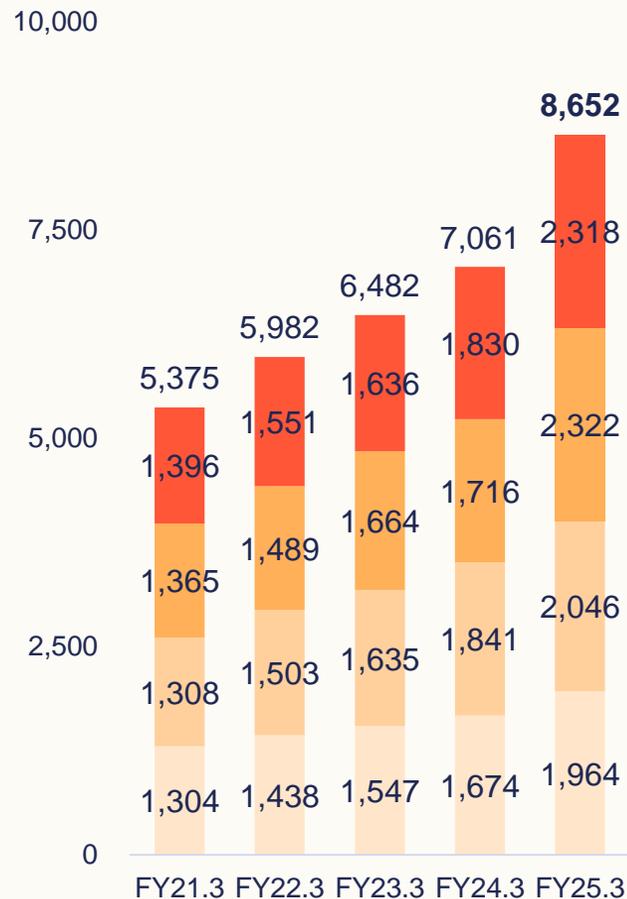
営業利益 **730** 百万円

YoY(%) (+45.4%)

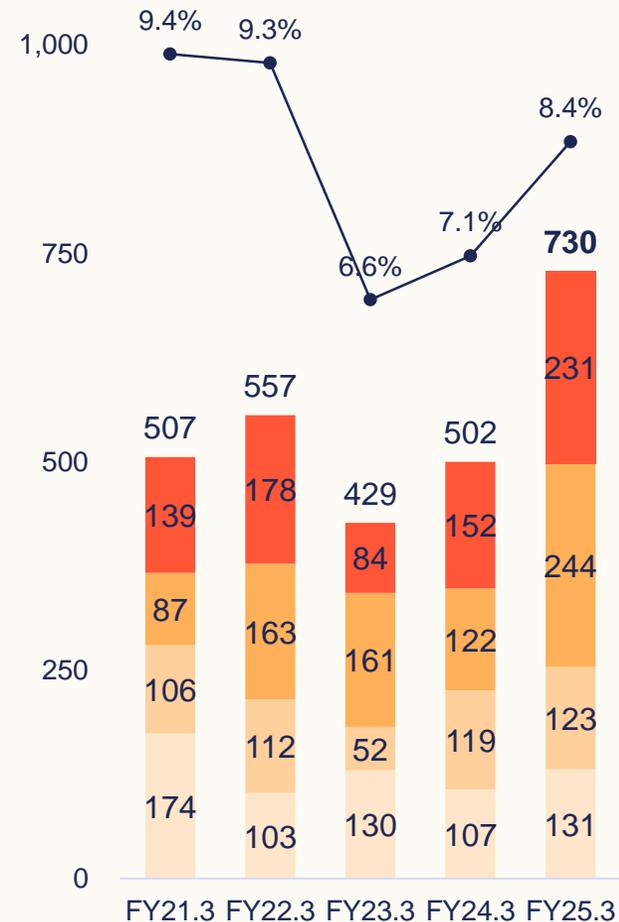
- ホームアシストにおける賃貸住宅向け駆けつけサービス業務の拡大が寄与し、増収。
- 賃貸住宅向け駆けつけサービスが計画通りに推移し、増益。
- グループ会社である株式会社プレミアアシストの現場対応の体制強化が寄与し、外注費抑制に貢献。

売上高 (百万円)

■ Q1 ■ Q2 ■ Q3 ■ Q4



営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3

売上高 **8,934** 百万円

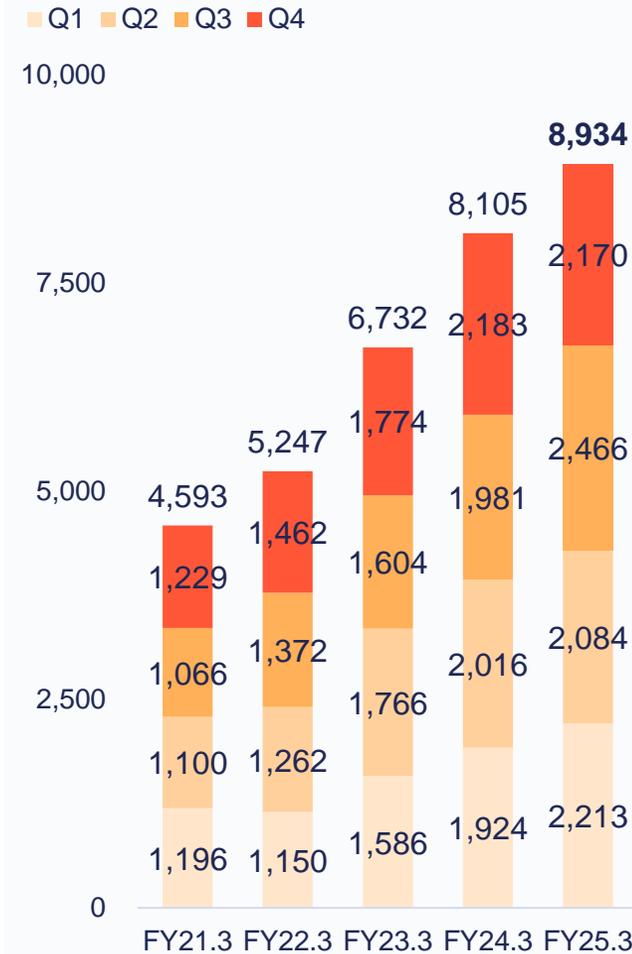
YoY(%) (+10.2%)

営業利益 **1,138** 百万円

YoY(%) (+41.3%)

- 主力であるヘルスケアプログラムにおいて新規クライアント企業の獲得及び既存クライアント企業のエリア拡大に伴う会員数増加により、増収。
- 海外日本語サービスを始め、委託料改定による収益改善が寄与し、増益。
- 現地医療機関における日本語での受診サポートを担う「ジャパニーズヘルプデスク」の認知度向上が寄与し、会員数増加。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

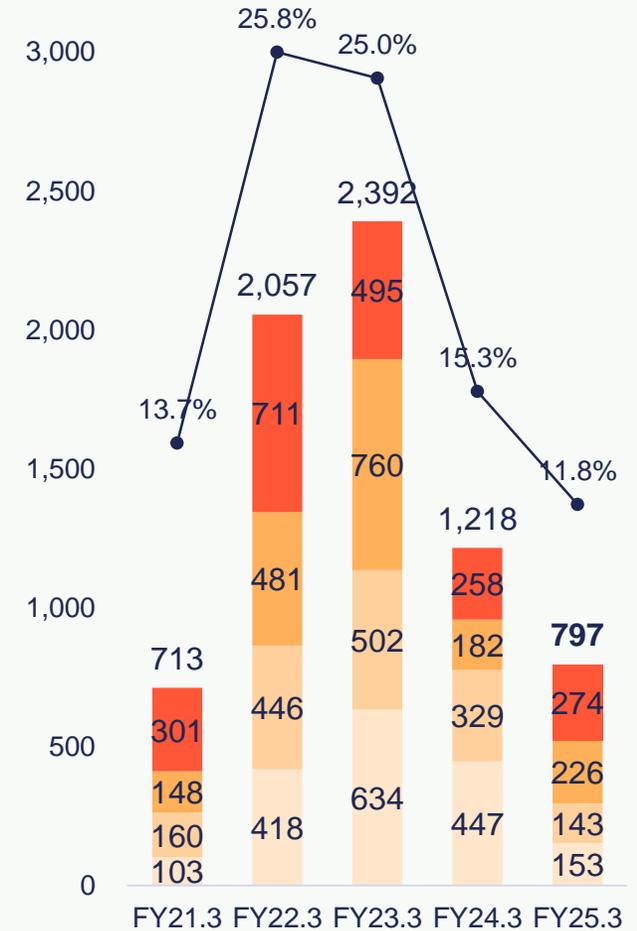
FY2025.3	
売上高	6,743 百万円
YoY(%)	(△15.2%)
営業利益	797 百万円
YoY(%)	(△34.6%)

- 既存業務の拡大による増収もあったものの、前期までの一時的要因であったワクチン関連業務の終了、及び一部のクライアント企業との契約終了に伴い、減収減益。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3

売上高 **10,572** 百万円

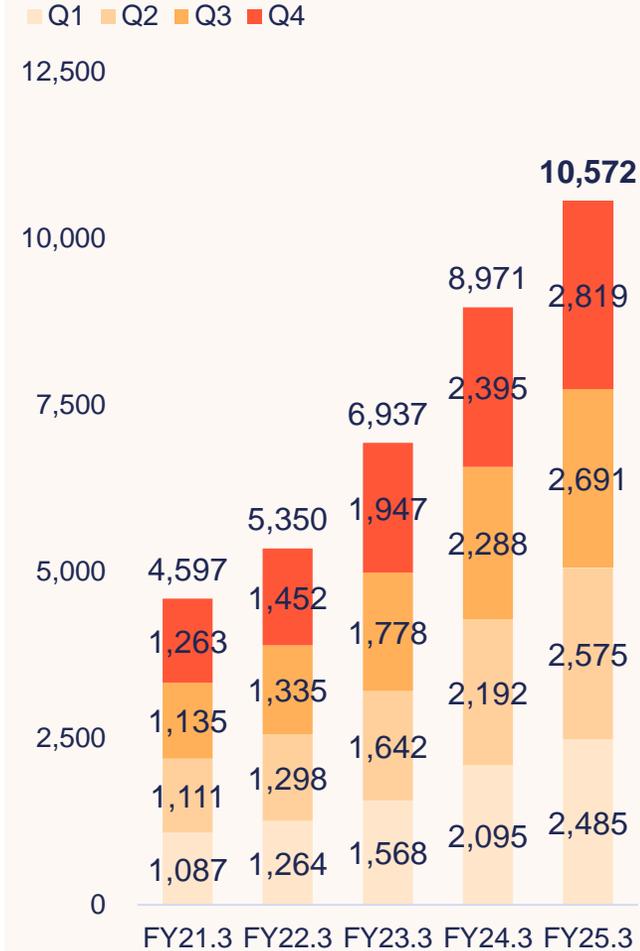
YoY(%) (+17.8%)

営業利益 **2,336** 百万円

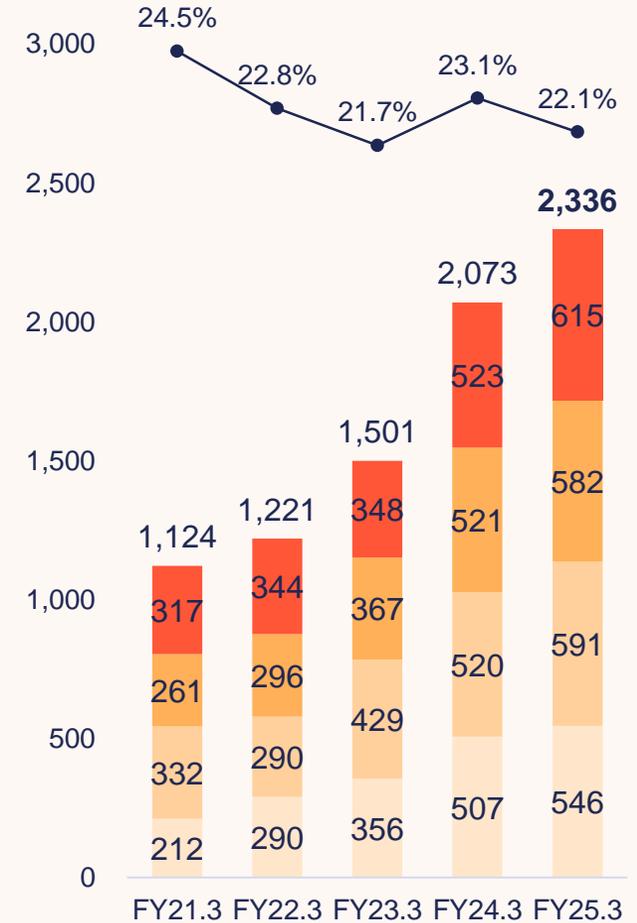
YoY(%) (+12.7%)

- グループ会社の株式会社イントラスト(7191)が展開する家賃債務保証事業の契約件数の増加及び債務保証を任意付帯するビジネスモデルの比率増加に加え、医療費用保証事業及び介護費用保証事業の成長も寄与し、増収。
- 貸倒引当金等が増加したものの、増収によりカバーし、増益。

売上高 (百万円)



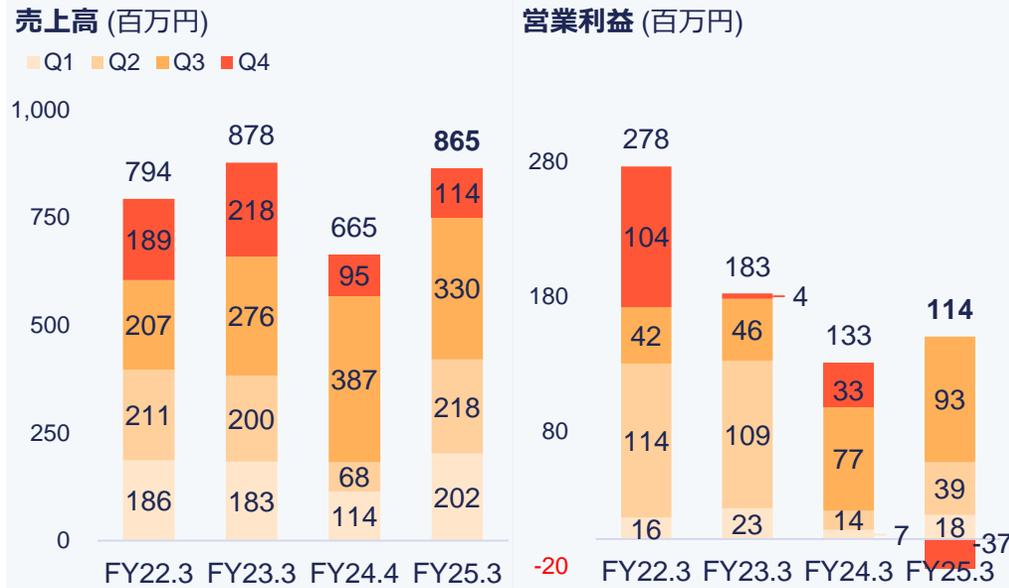
営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

IT事業

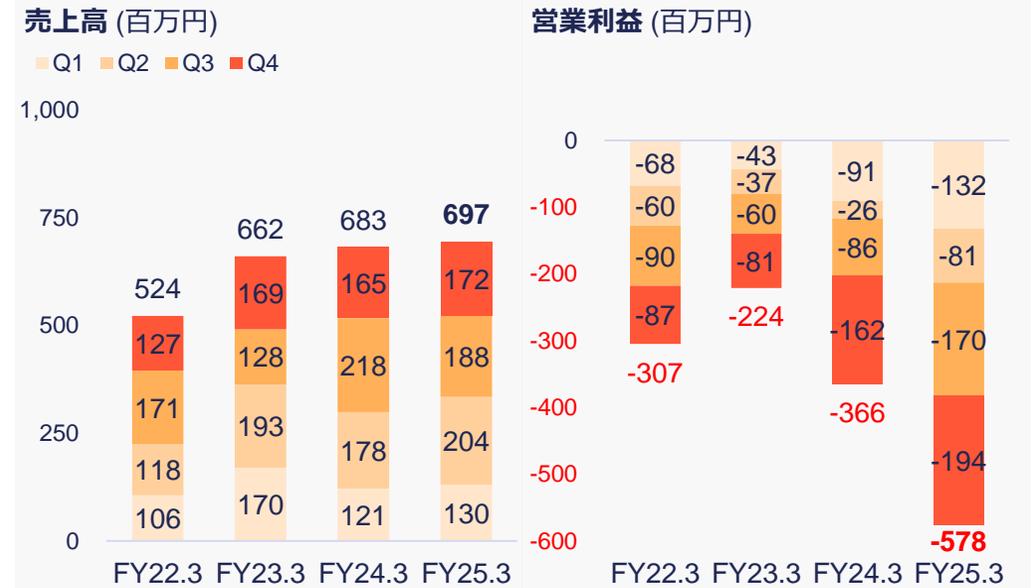
FY2025.3		YoY(%)
売上高	865 百万円	(+30.0%)
営業利益	114 百万円	(△14.3%)



- サプライチェーンマネジメントシステムの開発受託が堅調に推移し、増収。
- 海外オフショアにおいてIT開発体制の拡大により人員を増強したため、先行費用が発生し、減益。

ソーシャル事業

FY2025.3		YoY(%)
売上高	697 百万円	(+2.0%)
営業利益	△578 百万円	(—)



- 女子スポーツチーム「アランマーレ」の認知度向上によるスポンサー収入が増加に加え、企業内保育園の新規開設により、増収。
- スポーツ事業における体制・戦力強化を目的とした人件費増加に加え、保育事業における園児数定員拡大により人件費が増加し、減益。

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。



■ 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

(百万円) *対米ドル為替レート(予想) : 149.82円 (2025年4月1日時点)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2025.3 実績	FY2026.3 予想	増減	YoY (%)
売上高	63,719	70,000	+6,280	+9.9%
営業利益	7,961	8,500	+538	+6.8%
経常利益	8,416	8,900	+483	+5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,870	5,300	+429	+8.8%

- 売上高 主力であるアシスタンスサービス業務の引き続きの成長と、その骨子となるロードアシストサービスやホームアシストサービスの現場対応への投資も継続し、差別化を図りながら価値あるサービス提供により増収を見込む。
- 営業利益 賃金上昇や物価高騰に起因するコスト増はあるものの、AIを含めたDX化での業務改善や取引企業との価格転嫁を推し進め、増益を見込む。
- 親会社株主に帰属する当期純利益 営業利益および経常利益の増加による増益を見込む。

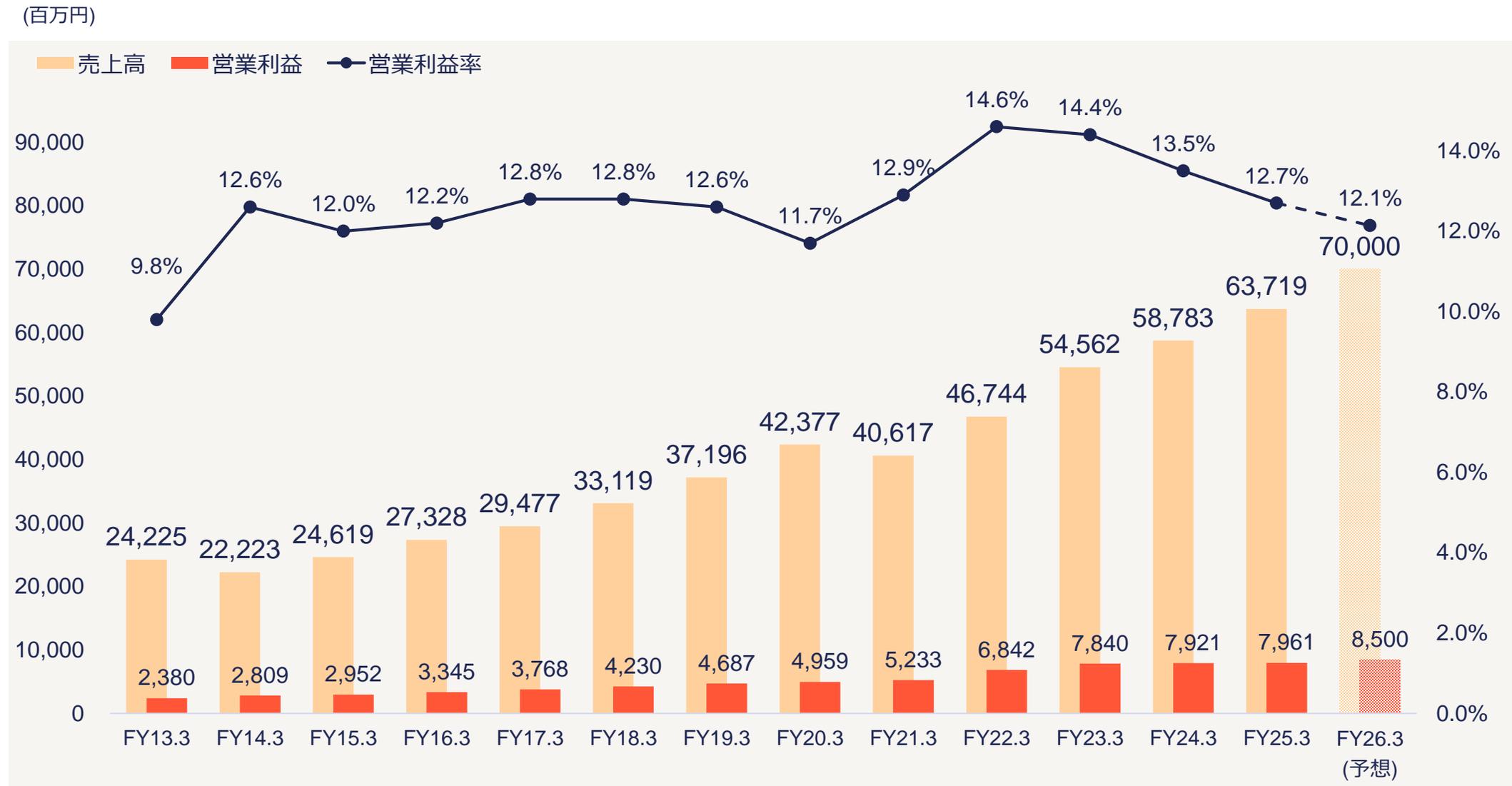
2026年3月期 事業別業績予想

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

		FY2026.3 売上高	YoY (%)	FY2026.3 営業利益	YoY (%)	
	オートモーティブ	29,720	+2,465 (+9.0%)	3,300	△148 (△4.3%)	主力のロードサービスにおいて手配件数や契約台数の増加、物価上昇に伴う委託料改定、新規クライアント企業の獲得により増収を見込む一方、物価上昇に伴う仕入れの増加や人件費の上昇により、減益の見通し。
	プロパティ	9,410	+757 (+8.8%)	850	+119 (+16.4%)	賃貸物件向けの駆けつけサービスの引き続きの拡大を受け、金融保証事業との相乗効果の最大化を目指し、ホームアシストの業務拡大や価格適正化により、増収増益を見込む。
	グローバル	10,100	+1,165 (+13.0%)	1,190	+51 (+4.5%)	ヘルスケアプログラムの新規クライアント企業獲得をはじめ、委託料改定により増収になるものの、海外拠点の営業体制強化、海外旅行保険関連のシステム投資等により、営業利益の伸びは緩やか。
	カスタマー	7,200	+456 (+6.8%)	990	+192 (+24.2%)	クレジットカード関連のチャット対応業務拡大等により増収し、利益に関しては低採算事業からの撤退や解約により、売上の成長率を上回る見通し。
	金融保証	12,000	+1,427 (+13.5%)	2,600	+263 (+11.3%)	家賃債務保証事業の継続的な成長で増収増益を見込み、さらなる成長へのチャレンジとして医療・介護分野の保証サービスの拡大に注力。
	IT	610	△255 (△29.5%)	90	△24 (△21.1%)	開発したシステムの納品減少、及び国内でのエンジニア採用による費用が先行し、減収減益の見通し。
	ソーシャル	960	+262 (+37.6%)	△520	+58 (—)	スポーツ事業において選手の獲得や運営チームの強化により費用は増加するものの、認知度向上による協賛金やホームゲームのチケット収入等による売上拡大を受け、赤字幅縮小の見通し。
合計		70,000	+6,280 (+9.9%)	8,500	538 (+6.8%)	

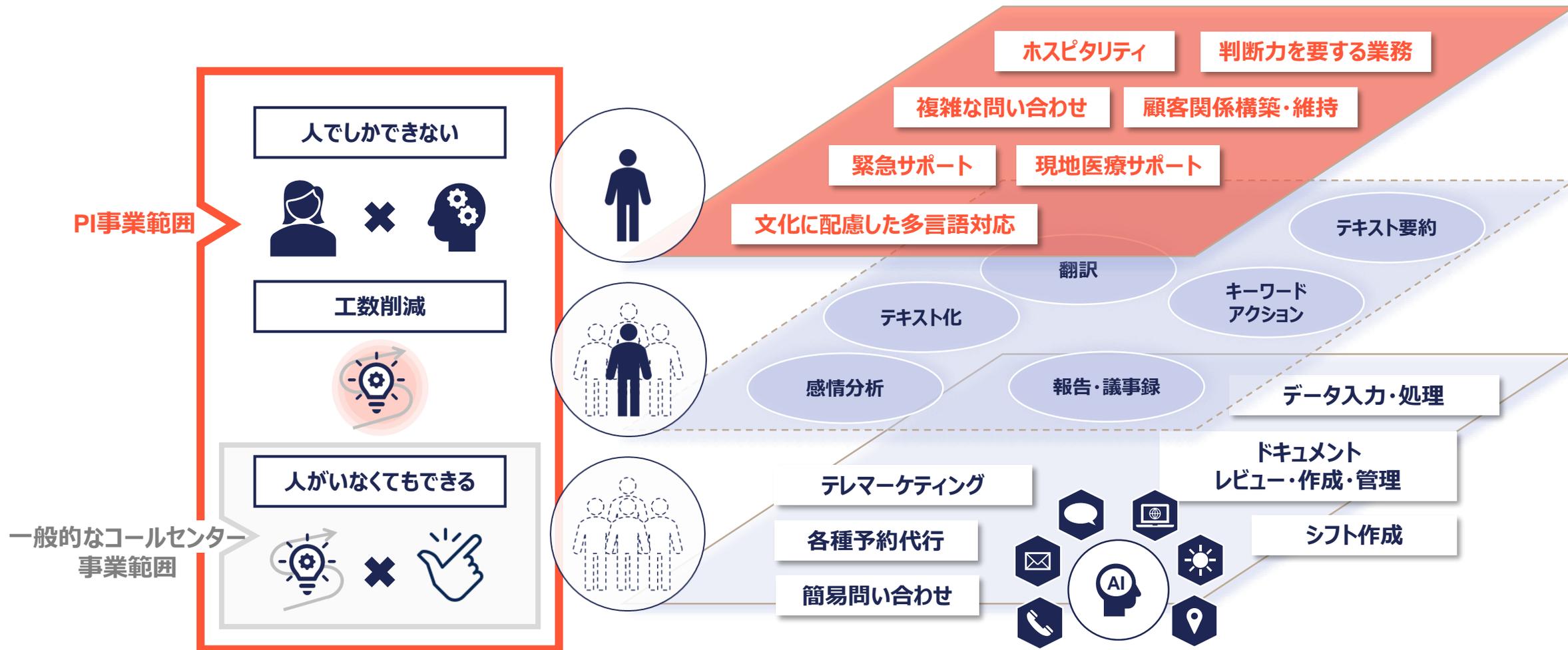
業績推移予想



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

人とテクノロジーのハイブリッド活用の方針

自動車事故時や故障、病気といったアシスタンスサービスが主な業務である特質上、お客様との直接の接点は臨機応変にサポート内容を判断し提供できる「人」での対応が必要となります。一方、オペレーターの適切な判断をサポートする機能や、応対内容の要約などはテクノロジーを活用して品質と効率性を高めていきます。



テクノロジーの導入事例

お客様との直接の接点以外は聖域を設けず、業務プロセスの各所でテクノロジーの導入・効率化を推進しています。

テキスト化・要約

1件あたりの対応時間

8.5分

40%削減

5分

導入効果

- 自動要約機能によるACW*の短縮
- ヒアリング内容の失念による履歴登録漏れの抑止
- 経験の浅いオペレーターのサポートが可能

* ACW...After Call Work / 平均後処理時間

シフト作成自動化

1か月あたりのシフト作成・調整作業時間

36時間

55%削減

16時間

導入効果

- シフト作成に加え、シフトの配布、希望聴取の工数削減
- 公平なシフト作成による従業員満足度の向上
- 効率的なシフト作成によるシフトカバーレージ率の向上

RPA*

1か月あたりの作業時間

280時間

67%削減

140時間

導入効果

- 請求書発行・FAX送信等、庶務業務の工数削減
- ヒューマンエラーの防止
- システム開発が不要なため、各チームの自発的かつ柔軟な業務効率化を実現

* RPA...Robotic Process Automation

チャットボット

1か月あたりの自動応答誘導本数

約4,000本

10%向上

約6,500本

導入効果

- 緊急度の高いトラブルの優先対応を実現
- 応答時間の短縮
- 定期的な運用改善・学習により、さらなる効果の向上も可能



■ 株主還元

第8次中期経営計画における配当方針

- 配当性向は第8次中期経営計画の2年度目までに60%程度に引き上げる。
- 第8次中期経営計画の最終年度までに総還元性向70%以上とし、株価の状況を勘案し自己株買い(上限30億円)のミックスで総額130億円の株主還元。
- 今後ROE及び配当利回りなどを再び向上させ魅力ある投資対象とするため、収益はもとより、還元策を拡大。

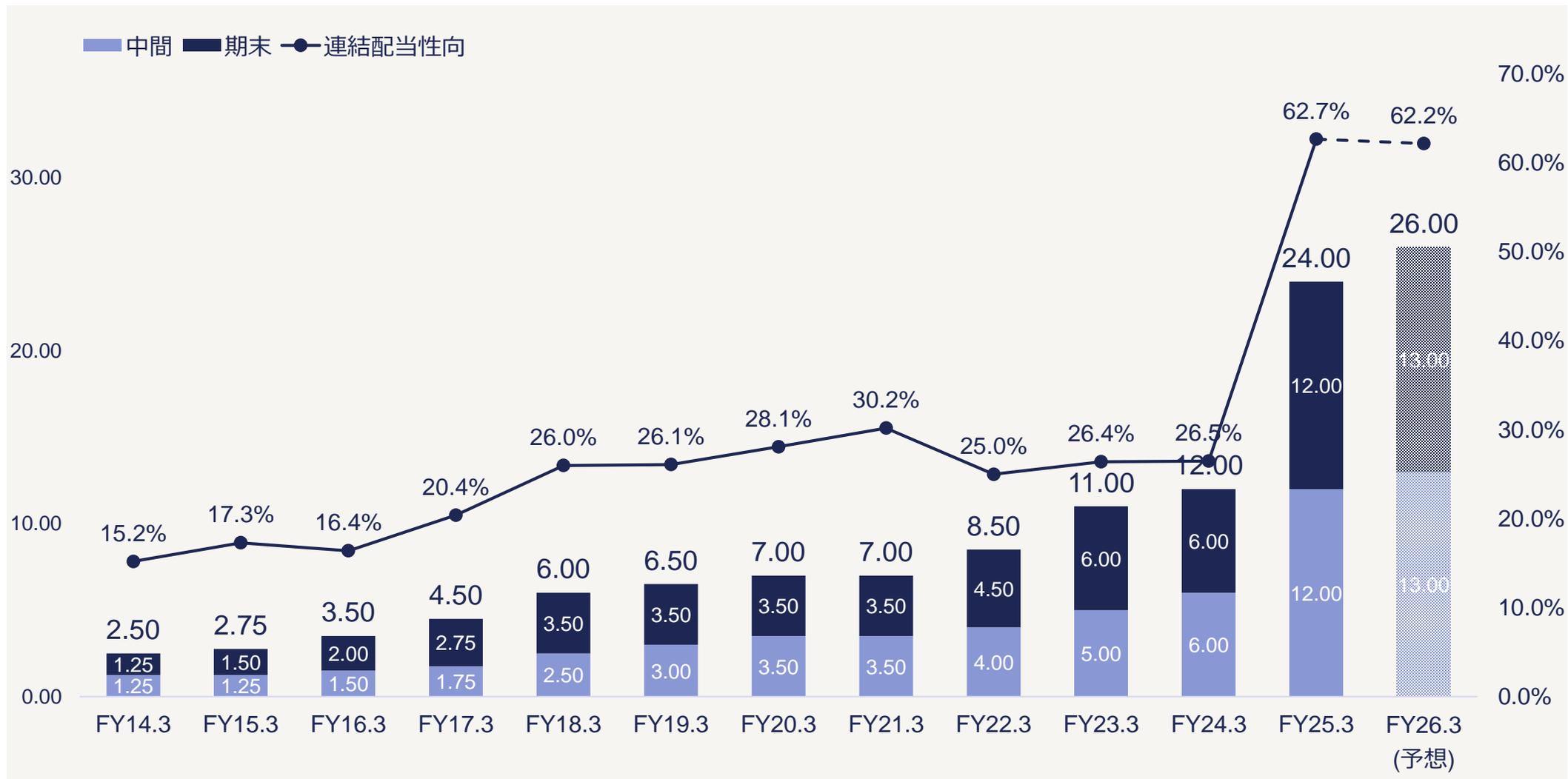
配当性向：FY2026.3までに 60%以上
総還元性向：FY2027.3までに 70%以上

		中間	期末	合計	連結 配当性向	総還元性向
FY2025.3 (実績)	1株当たり配当金(円)	12.00	12.00	24.00	62.7%	72.9%
	配当額(百万円)	1,530	1,521	3,051		
FY2026.3 (予想)	1株当たり配当金(円)	13.00	13.00	26.00	62.2%	—
	配当額(百万円)	1,648	1,648	3,296		

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

配当による還元

(円)



2019年10月1日に、株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っており、配当金は、株式分割遡及適用後の数値を記載しております。

■ 2025年3月期の取り組み

2024年5月に発表した第8次中期経営計画の利益還元策に則り、資本コストを意識し、財務状況や株価を勘案した結果、2024年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

本件に関するリリース情報

2024年11月19日 [自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ](#)
2025年1月7日 [自己株式の取得状況に関するお知らせ](#)
2025年1月16日 [自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ](#)

(1) 取得対象株式の種類 :	当社普通株式
(2) 取得した株式の総数 :	740,300株
(3) 株式の取得価額の総額 :	499,959,300円
(4) 取得期間 :	2024年12月2日～2025年1月15日
(5) 取得方法 :	東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付け

■ 2026年3月期の取り組み見通し

自己株式の消却

(1) 消却する株式の種類 :	当社普通株式
(2) 消却する株式の総数 :	1,500,000株 ※消却前の発行済株式総数に対する割合 : 1.17%
(3) 消却予定日 :	2025年5月30日

<参考>

消却後の発行済株式総数 : 127,176,300株
取消後の自己株式数 : 384,623株
※2025年3月31日時点の自己株式数を基準に算出

自己株式取得

(1) 取得対象株式の種類 :	当社普通株式
(2) 取得した株式の総数 :	750,000株 (上限)
(3) 株式の取得価額の総額 :	500,000,000円 (上限) ※消却前の発行済株式総数に対する割合 : 0.59%
(4) 取得期間 :	2025年6月2日～2025年9月22日
(5) 取得方法 :	東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付け

<参考> 2025年3月31日時点の自己株式の保有状況

- 発行済株式総数(自己株式を除く) : 126,791,677株
- 自己株式数 : 1,884,623株



■ ESG・サステナビリティ

ダイバーシティ推進プロジェクト

当社では、全従業員が安心して生き活きと働ける環境を創造し、地域社会に貢献することを重要な基本戦略と位置づけております。2018年に発足した女性活躍推進プロジェクトから進化し、ダイバーシティ推進プロジェクトとして、個々の価値観や個性、背景を尊重し、柔軟で多様な働き方の実現を目指します。

■ 2025年3月期のふり返りと課題

職場でのアンコンシャス・バイアスに関するアンケートや情報発信を実施いたしました。2018年から取り組んできた「女性活躍」の取り組みが社内に浸透し一定の成果をあげていることから、次のステップとして、女性だけでなく誰もが働きやすく・自分らしく、というテーマに移行していくために、1,000件以上のアンケート回答を分析し、今後の方針・取り組みの整理を行いました。

■ 2026年3月期の活動方針及び中期経営計画最終年度(2027年3月期)までの目標

- 女性活躍からダイバーシティへの移行・アンコンシャスバイアスの解消等に関する情報発信・研修を通じて、従業員の意識改革を図る。
- 介護・子育て・疾病等による特別休暇や有休の取得しやすい環境づくりや利用条件の再検討を図り、社内制度の利用を促進。

2027年3月期 目標 ▶

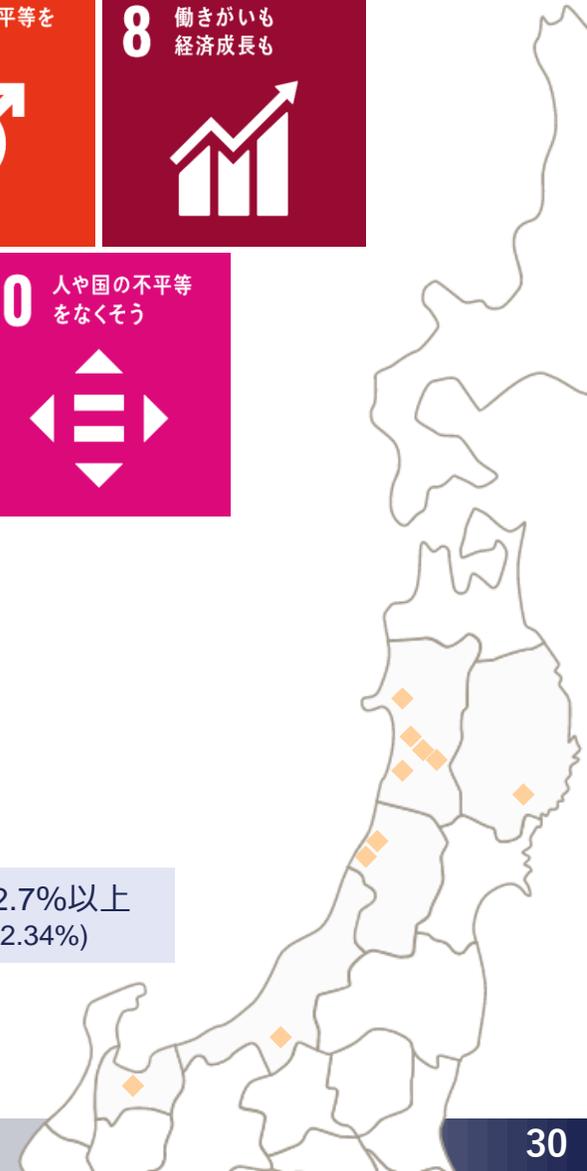
女性管理職比率 50%以上
(2025年3月期：42.0%)

男性育休取得率 80%以上
(2025年3月期：70.6%)

障がい者雇用率 2.7%以上
(2025年3月期：2.34%)

介護を理由とした離職 3%以下
(2025年3月期：3.8%)

従業員エンゲージメント -60.00pt
(2025年3月期スコア：-69.75pt)



健康経営プロジェクト

当社では、明るく健やかに働くことができる環境づくりのために、代表取締役のもと、人事統括部門・経営統括部門を事務局として健保組合及び各BPO拠点等と連携し、従業員の健康保持・促進、また身体や心の不調の防止・早期解決に向け、経営課題解決に向けた健康経営の取り組みを推進しています。

■ 2025年3月期のふり返り

従来の活動における定量データの収集・効果測定不足を課題と捉え、戦略マップを策定し、各取り組みにおけるPDCAサイクルを意識してプロジェクト運営を行いました。3カ年の戦略マップの1年目として従業員のリテラシー向上を目指し、オンラインセミナー等の施策を講じてまいりました。

■ 2026年3月期の目標と取り組み及び中期経営計画最終年度(2027年3月期)までの目標

以下の2点を健康経営を通して解決すべき経営課題として設定し、各BPO拠点が主体性を持って具現化し、取り組んでまいります。

- 心身の不調に起因する**生産性の低下**を回避し、**労働力不足の解消**を目指す。
- イベント等の施策を通じた**エンゲージメント向上**を図り、**離職率低減**を目指す。

2027年3月期 目標 ▶

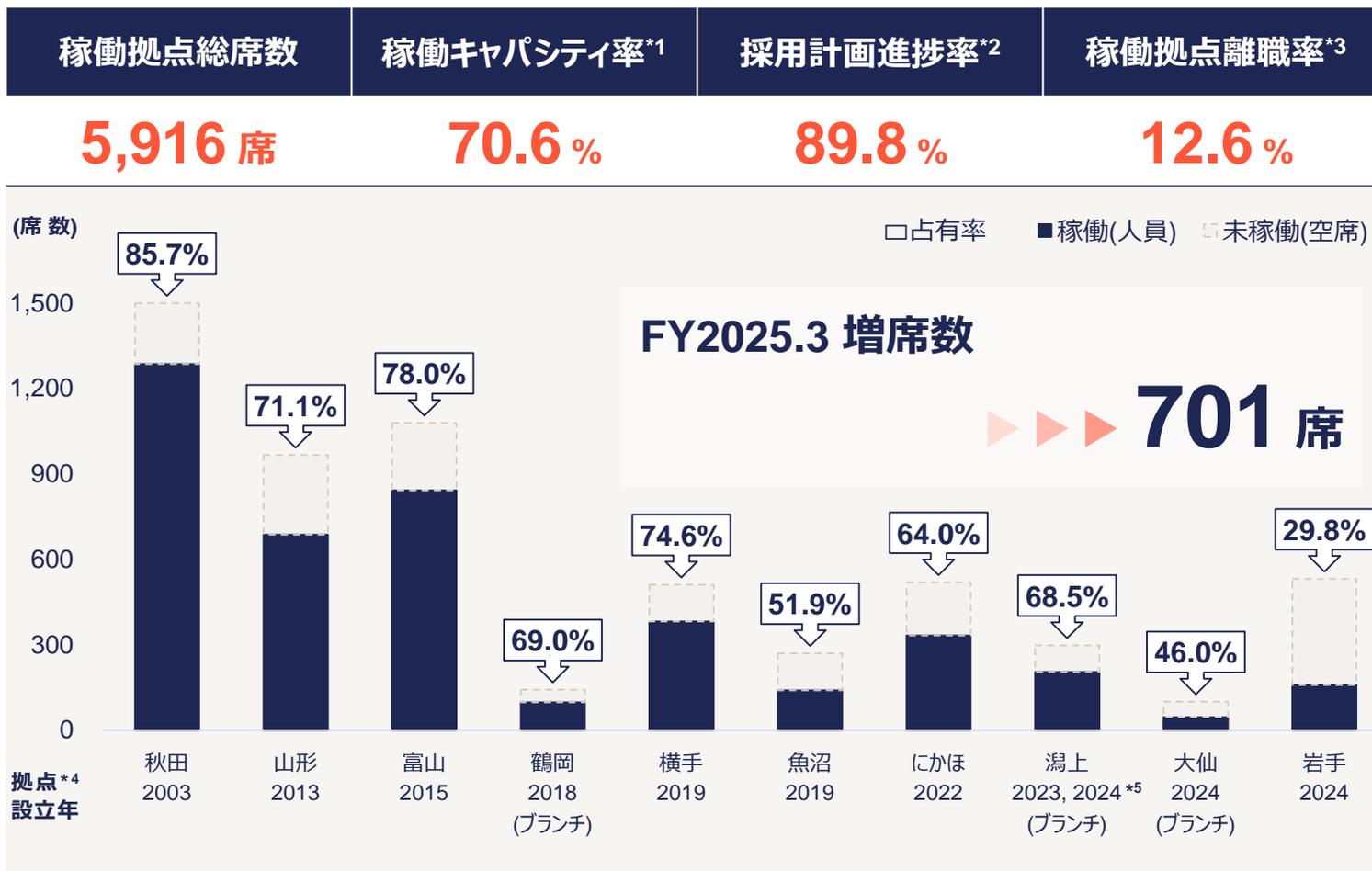
喫煙者率	BMI普通体重維持者率
15%以下	68%以上





Appendix

成長余力の創出に向けた取り組み | 国内BPO拠点稼働状況 (2025年3月末時点)



受託能力向上に向けた施策

- 機動的な拠点*4展開**
 - 岩手 (約500席) ※純増は約430席
 - 大仙 (約100席)
 - 潟上 (約170席)
- WEB化による入電量抑制**
 - Webサイト構築等によるオムニチャネル受付体制を促進、入電量を抑制
 - Web Real-Time Communicationを活用し、オンラインサポートを提供
- AI活用による品質向上**
 - 新入社員の研修・評価へ導入し、オペレーター育成期間の短縮
 - 自動車・海外旅行の損害保険査定業務への活用に向け検証中
- リソース活用による効率化**
 - 業務毎の繁忙期・閑散期やオペレーションスキルのデータ化、インセンティブ制度の整理を進め、チーム間の人員補完体制を構築

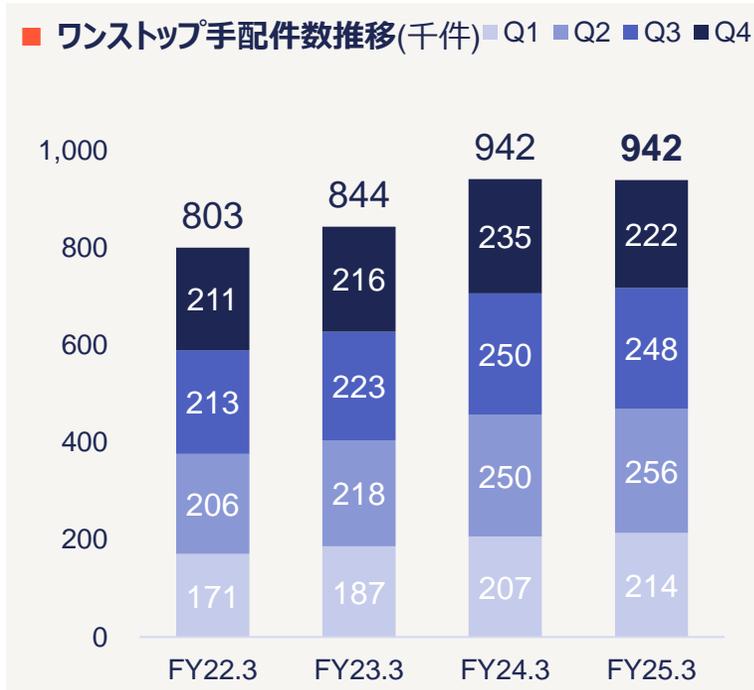
*1 在職者(派遣を含む)/席数

*2 事業部からの必要人員数に応じた採用進捗率 ※期中に母数(事業部からの必要人員数の申請)が増える可能性があります。

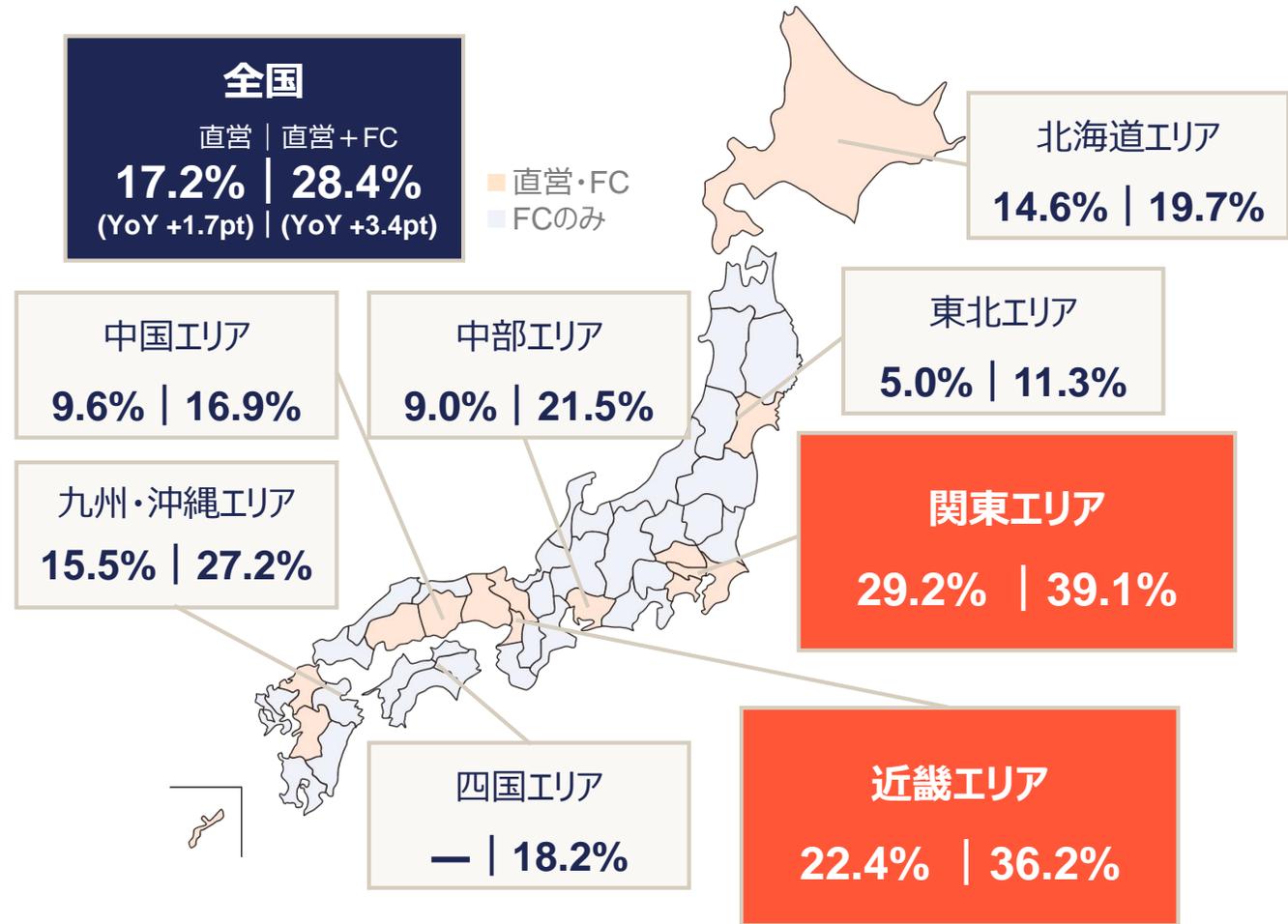
*3 期間退職者/(期首直接雇用者+期間入社者) ※対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

*4 拠点名は地域名にて省略して掲載しております。

*5 秋田BPO潟上ブランチは、2023年に開設した第一オフィスと2024年に開設した第二オフィスの合算となります。



PREMIER Assist 直営及びフランチャイズ(FC)出動割合



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

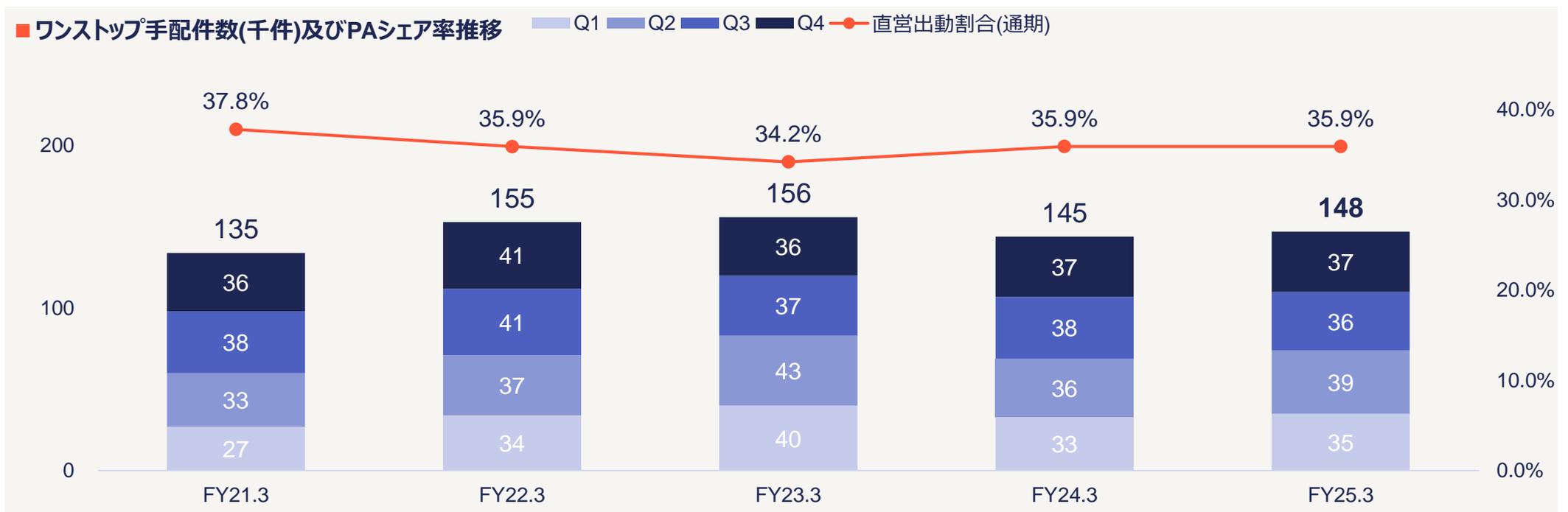
PREMIER Assist ロードアシスト	FY2022.3	FY2023.3	FY2024.3	FY2025.3	YoY vs. FY2024.3
PREMIER Assist 直営拠点数	31	31	34	33	△1
PREMIER Assist FC加盟社数	63	85	107	116	+9
うちEV用ポータブル充電器配備社数	—	—	73	84	+11
PREMIER Assist 直営拠点人員数	235	254	278	309	+31
PREMIER Assist 直営保有車両数	210	222	236	276	+40
レッカー車	51	56	68	75	+7
うちEV給電可能なレッカー車	2	45	56	62	+6
積載車	72	80	79	96	+17
サービスカー	78	78	85	102	+17
特車(バイク専用車両)	2	2	0	0	0
バイク	7	6	4	3	△1

FY2025.3

手配件数 148,872 件

YoY(%) (+2.1%)

PREMIER Assist ホームアシスト	FY22.3	FY23.3	FY24.3	FY25.3	YoY vs. FY24.3
拠点数	14	14	14	16	+2
人員数	129	136	141	157	+16



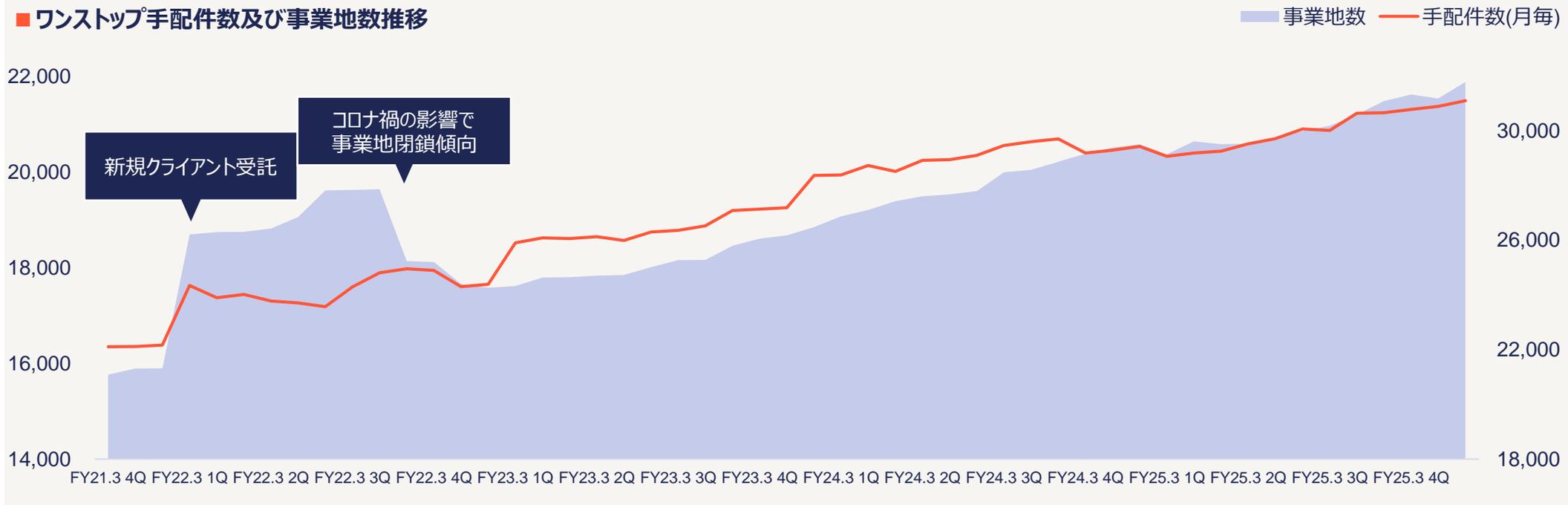
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3

手配件数 306,990 件

YoY(%) (+3.3%)

PREMIER Assist パークアシスト	FY22.3	FY23.3	FY24.3	FY25.3	YoY vs. FY24.3
拠点数	11	11	10	12	+2
人員数	247	263	264	257	△7



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

直近のニュースリリース *抜粋

リリース日	タイトル	関連する事業	SDGs
2025.03.17	「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」4年連続で認定		  
2025.03.18	執行役員の人事異動に関するお知らせ		 
2025.03.26	新拠点「青森BPO三沢ブランチ」4月1日より操業開始		   
2025.04.01	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） JIS Q 27001:2023認証移行のお知らせ	      	 
2025.04.11	秋田BPO潟上キャンパス（仮称）地鎮祭を実施	  	   

ニュースリリースは[こちら](https://www.prestigein.com/whats/)からご覧いただけます ▶▶▶
(<https://www.prestigein.com/whats/>)



本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解いただくための情報提供を目的としており、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の予想に関する記述等につきましては、現時点における目標や予測に基づき判断したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績の数値、結果、パフォーマンス等は、現時点における将来の予想と異なる結果となる可能性がある点をご確認の上、ご利用ください。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢及び市場環境や当社グループの関連する業界動向の変化、その他内部・外部要因等により予告なく変更することがあります。

IRニュース配信サービス

プレステージ・インターナショナルの最新情報やニュースリリースなどを、
ご登録いただいた皆様に電子メールにてお知らせするサービスです。
この機会にぜひご登録ください。

ご登録はこちらから▼

IRニュース配信サービス登録

二次元バーコードからのご登録いただけます▼





PRESTIGE INTERNATIONAL